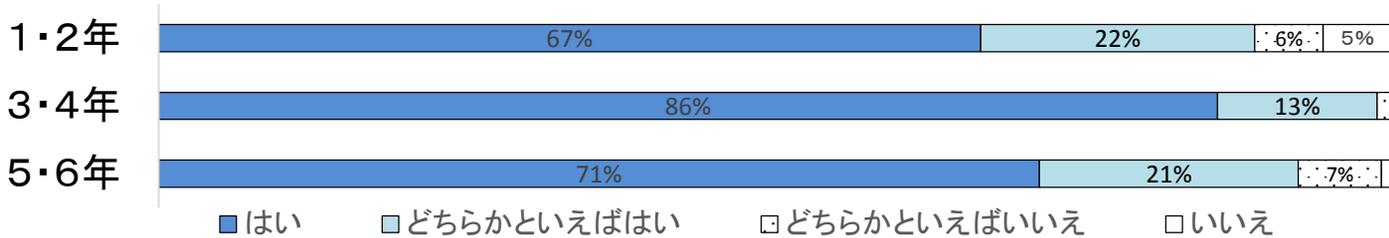


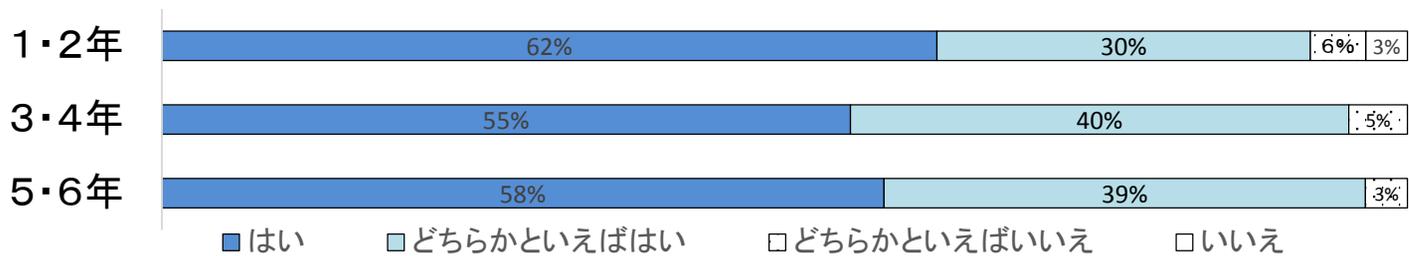
協働型重点目標 進んで挨拶ができる児童の育成
あたたかい言葉で交流する児童の育成

1 自分から挨拶の言葉を声に出して相手に伝えていますか。



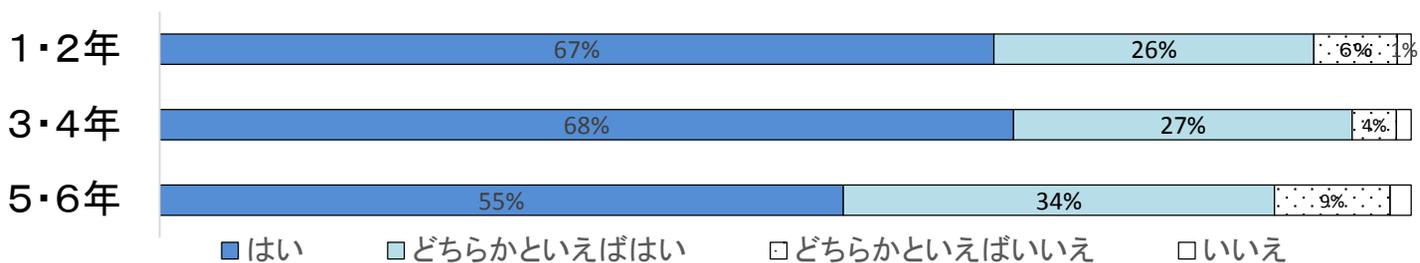
低学年が89%、中学年が99%、高学年が92%の肯定的な回答（「はい」または「どちらかといえばはい」）となっています。日頃の習慣や挨拶運動をとおして、自分から挨拶をする意識が高まっていることが分かります。低学年では、まだ恥ずかしたために自分から声に出して挨拶を行うことに抵抗のある児童がいるようですので、これからも声掛けをして挨拶を元気にできるようにさせていきたいです。

2 相手の気持ちを考えながら話しかけるなど思いやりを持って友達に接していますか。



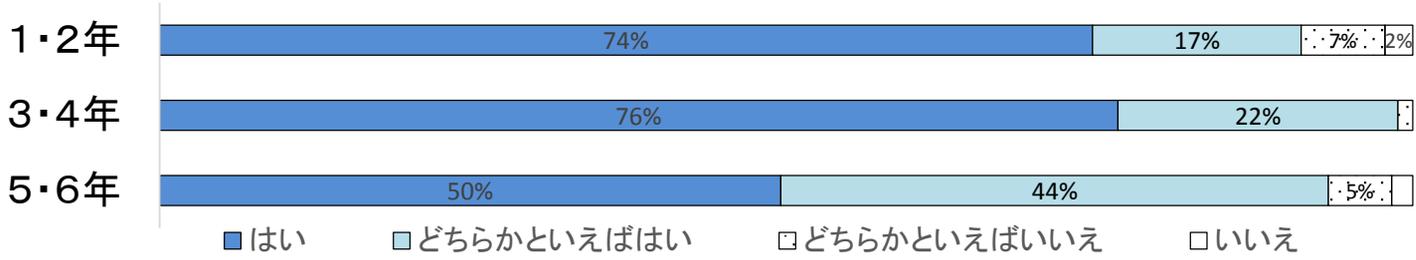
全学年とも9割を超す児童が肯定的な回答（「はい」または「どちらかといえばはい」）となっています。道徳の授業をとおして思いやりについて考えることをしたり、児童会でのあったか言葉を使う呼びかけがあったりと、意識して相手の気持ちを考えて話す場面が多くなったと考えます。しかし、言葉によるトラブルも多くあります。これからも「あったか言葉」を意識して使えるように指導していきたいと考えます。

3 進んで運動するなど、健康・安全な生活を心掛けていますか。



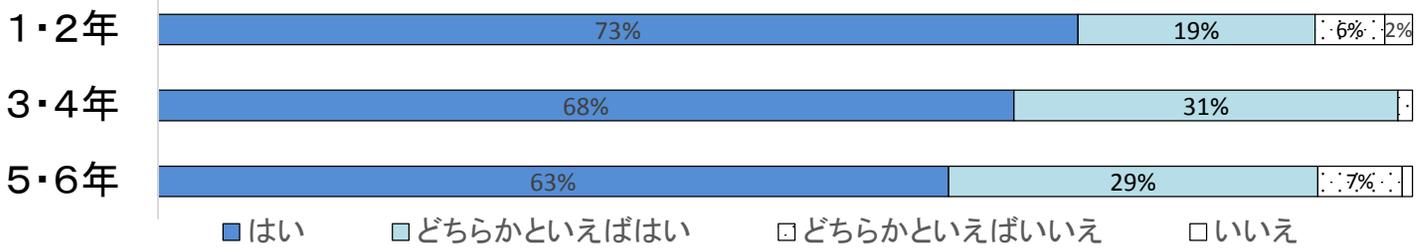
低学年が93%、中学年が95%、高学年が89%が肯定的な回答（「はい」または「どちらかといえばはい」）となっています。業間休みの「RUNランタイム」に意欲的に参加する児童や朝や放課後の時間に校庭で元気に遊ぶ児童の姿を多く見ます。体育の時間だけでなく自分から意識して外遊びをする児童が増えました。ただ、高学年になると教室が3階ということもあり、外遊びを好まない児童もいることが分かります。

4 進んで学習に取り組んでいますか。



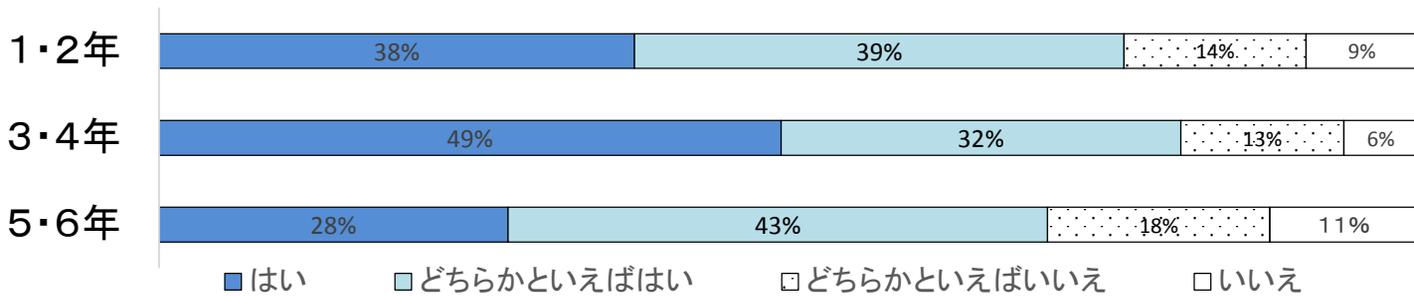
全学年とも9割を超す児童が肯定的な回答（「はい」または「どちらかといえばはい」）となっています。学校での授業はもちろん、家庭学習強化週間の家庭の御声掛けもあり、家庭学習に進んで学習しようという意識が高まっているようです。低学年の9%は否定的な回答がありますが、学習の大切さや楽しさを伝えることで意識を高められるように努めたいと考えます。

5 どんなことも、最後までやりとげるように頑張っていますか。



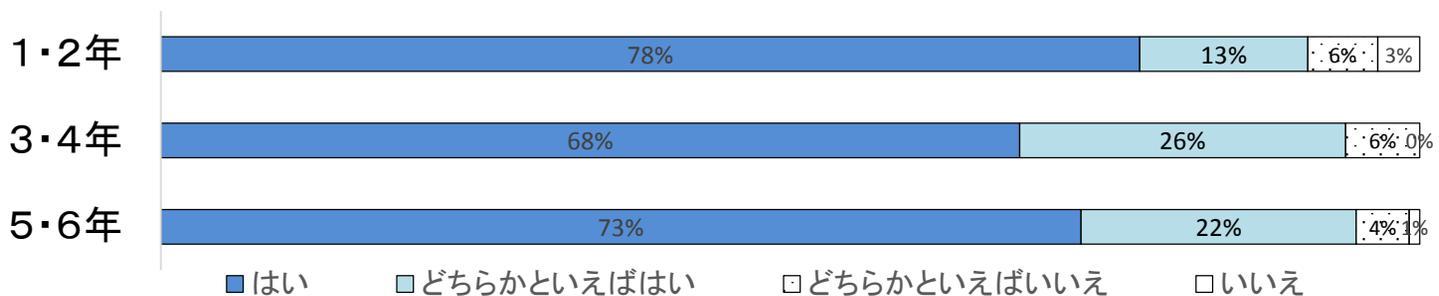
全学年とも9割を超す児童が肯定的な回答（「はい」または「どちらかといえばはい」）となっています。運動会や学芸会などの学校行事では、練習期間の努力が実り、大きな充実感を得ることで最後までやり遂げる姿勢を学んだ児童も多いようです。また、授業やいろいろな学習活動での教師や友達、御家庭、地域での励ましを受けて頑張りぬくことの大切さを学んだ児童も多くありました。

6 自分のよさ(いいところ)が分かりますか。



低学年の77%、中学年の81%、高学年の71%が肯定的な回答（「はい」または「どちらかといえばはい」）となっています。高学年の3割が否定的な回答になっています。自己肯定感が強い児童ほど自信を持って学校生活を送ることができ、さらに他者への思いやりのある行動にもつながります。児童の努力や成果を大いに認め、自らのやる気を引き出すような指導を継続していきたいと考えます。

7 学校に来るのが楽しいですか。



全学年とも9割を超す児童が肯定的な回答（「はい」または「どちらかといえばはい」）となっています。学校が楽しい理由には「友達がいるから」「学習が楽しい」「給食がおいしい」「授業が分かりやすい」などが多くあげられ、否定的な回答の理由には、「友達とうまくいかない」「勉強が好きでないから」「教室がうるさいから」といった理由をあげる児童がありました。学校全体で丁寧に支援していきたいと考えています。